



## ～ ぴあ総研と日本政策投資銀行との共同研究プロジェクトが発足 ～ 集客エンタメ産業の社会的価値に関する共同研究を開始

ぴあ株式会社（代表取締役社長：矢内 廣）は、ポストコロナにおける音楽、演劇、スポーツ等の集客エンタメ産業の発展可能性に着目し、その社会的価値に関する研究活動を行う共同プロジェクトを発足しました。

本プロジェクトは、弊社グループ会社のぴあ総合研究所株式会社（代表取締役社長：吉澤保幸、以下「ぴあ総研」という）と、日本政策投資銀行（以下「DBJ」という）地域調査部によって実施されます。

### ※集客エンタメ産業とは

国内で開催され、入場料が必要な、映画・音楽コンサート・演劇・ミュージカル・映画・スポーツ・その他イベント（美術展、展覧会、文化イベント、花火大会、ライブビューイング、VR、舞台挨拶等）を対象とします。

### 【共同プロジェクト発足の背景】

コロナ禍により、人が密に集まって過ごすことが制限され、“人と人が集い、感動を共有すること”をその事業の根幹とする集客エンタメ産業は甚大なダメージを被りました。しかしながら、集客エンタメの“人と人をつなぐ”という根源的価値は揺らぐことなく、ポストコロナの時代にその社会的価値はさらに増すと考えられます。また、社会の持続的発展や地域の活性化、人々の行動変容などにも、集客エンタメ産業は今後大きな貢献をもたらす可能性があると考えます。

ぴあ総研とDBJは、こうした集客エンタメ産業の今後の可能性に着目し、「集客エンタメ産業が地域社会にどのような価値をもたらすか」をテーマに、相互のノウハウを活かし共同で行ってまいります。

- ・ぴあ総研は、集客エンタメ産業の市場規模推計等、ぴあグループの事業活動を通して蓄積してきたリアルなデータや知見を持ち、集客エンタメ産業の社会的意義の向上や産業としての活性化への貢献を目指した調査研究活動を行っております。

今回の研究目的、主な調査内容は以下の通りです。

### 【研究目的】

集客エンタメ産業における経済的価値含む社会的価値の可視化・定量化を行い、集客エンタメが社会の持続的発展や地域活性化を効果的に後押しするためのあり方を検討する。

### 【調査内容】

1. ロジックモデルによる集客エンタメの社会的価値の可視化
  - ・社会的価値提示のロジックモデルの作成（因果関係の整理と、参考事例の提示）
  - ・ソーシャルキャピタルの向上については、アンケート調査による定量化を試みる（「つなげる」の観点）
  
2. 集客エンタメの社会的価値の定量化
  - ・経済波及効果の測定（ステークホルダーの経済的価値）
  - ・人流データ分析（地域に「あつめる」価値の可視化）
  
3. 新たな地域貢献のあり方について（可能性）

### 【スケジュール】

以下のスケジュールにて共同研究のとりまとめ及び研究発表会を実施する予定です。

2022年3月末 研究報告書リリース（予定）

2022年5月中 ぴあ総研主催シンポジウムにおいて研究報告（予定）

※ご取材の際には、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

### <お問い合わせ先>

ぴあ株式会社 広報室

TEL: 03-5774-5294 E-mail : [koho@pia.co.jp](mailto:koho@pia.co.jp)